

スマート農業イノベーション推進会議（IPCSEA）の 概要及び活動内容

令和 8 年 4 月

スマート農業イノベーション推進会議事務局

スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）^{イプサ}について

- **スマート農業技術活用促進法**及び基本方針に基づき、**スマート農業技術の開発と普及の好循環**の形成を推進していくため、**農業者が中心となって運営する多様なプレイヤーが参画したスマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）※を令和7年度に設置。**
※IPCSA : Innovation Promotion Conference for Smart Agriculture
- 同会議において、生産と開発の連携、情報の収集・発信・共有、関係者間のマッチング支援、人材育成等を通じ、**会員の自発的なコミュニティ形成の促進**を支援

■ IPCSAの構成員

※会員数：1,609（R8.3.31時点）



コミュニティ形成の促進を支援

■ IPCSAの運営

○ 運営委員

- (株) 浅井農園 浅井 雄一郎 代表取締役 **【運営委員長】**
- (株) アグリーンハート 佐藤 拓郎 代表取締役
- (株) 鈴生 鈴木 貴博 代表取締役社長
- (株) ファームノートデーリィプラットフォーム
平 勇人代表取締役
- (株) 日本農業 内藤 祥平 代表取締役CEO
- (株) 三浦農場 三浦 尚史 代表取締役
- (株) 日本総合研究所創発戦略センター
三輪 泰史 チーフスペシャリスト

○ 事務局

農水省技術政策室及び
農研機構本部スマート農業推進部

詳細及び
入会はこちら



IPCSA 設立総会の開催 (R7.6.27)

- 農業者、民間企業、地方公共団体、大学、研究機関等の約1000名の多様なプレーヤーが参画。
- スマート農業の推進に意欲的な農業者、スタートアップ、有識者等による講演及びパネルディスカッション等を実施し、**スマート農業技術の活用に向けた参加者の機運を醸成**。
- 参加者との意見交換を通じて、スマート農業技術を活用して「儲かる農業」を目指すこと、**世界をリードする優良な成果や技術を創出していくこと等、IPCSAの役割や活動の重要性について共通認識を深めた**。

設立総会当日の様子

○政務官挨拶



山本政務官

○事務局挨拶



農研機構
久間理事長

○決意表明



浅井運営委員長

○IPCSA活動紹介



農水省
齊賀技術政策室長

○基調講演



女子栄養大学
中嶋教授

○スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定者の取組紹介



(株)おしの農場
押野専務

○閉会挨拶



農水省
堺田技術総括審議官

(株)Root
岸代表

○パネルディスカッション



(左から三輪氏、浅井氏、鈴木氏、平氏、内藤氏、押野氏、岸氏)

参加者からの主な意見

- スマート農業を導入することを目的としてはいけない。「儲かる農業」を目指し、経営の基盤安定や次世代への継承にとって**スマート農業が必要であるという共通認識の下でIPCSAの活動が推進されることを期待したい**。
- **インプットをいかに少なくして、アウトプットを最大化できるかがポイント**。地域ごとに、**その作物の一番の理想形を示すことができるかが重要になる**。
- 特定の品目や経営、中山間地など、マーケットが小さく**単独で解決できない課題でも、IPCSAを通じて、他との共通点を見出すことができるのではない**か。
- データ活用などのサービス支援の展開では、熟練者が新規就農者かなど**利用者の属性によってサービスの設計が変わってくる**。そこで**差別化していくことが必要はない**か。
- **世界から評価される成果や技術を生み出し、グローバルな活動の展開に期待したい**。
- とてもワクワクしている。IPCSAの中で、先進的な農業者等から、**これまでの課題やこれからの可能性などをもっと学びたい**。など

○交流会



(参加者間の交流)



(スマートグラス実演会)

IPCSEAの主な活動

①情報の収集・共有・発信

- 専用サイトでスマート農業に関する最新情報を発信
- 国内外の技術動向、スマート農業技術による経営効果などの独自調査を実施



(専用サイトで情報発信)



(優良事例等の情報発信)

②関係者間のマッチング

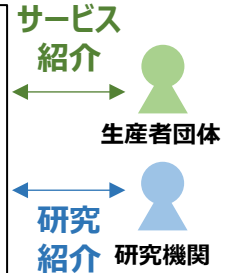
- 各種イベントによる交流・マッチングの機会づくり
- 専用サイトで会員間のコミュニティ形成を促進



(各種イベント実施)

専用サイトでの会員プロフィール

【氏名】●●(株)
 【分野】畑作、露地野菜、果樹
 【活動地域】九州地方中心
 【取組】
 農薬散布サービス(ドローン)
 【実績・PR】
 ●年スマ農実証プロ参画。
 受託実績300件以上/年。



(専用サイトでの会員間マッチング)

③人材の育成

- スマート農業技術を使いこなせる人材の育成に寄与する研修情報の発信、モデル的な研修の実施



(全国各地の研修情報の整理・提供)

内容・
 テーマ
 を設定

IPCSEA独自のモデル的な研修を実施

- 【テーマ・内容案】
- スマート農業技術の有効活用による経営改善ノウハウ
 - スマート農業技術に適した新たな生産方式の導入

④技術的な検討

- IPCSEA全体の活性化に向けて、農業者が先頭に立って、技術開発や普及をリードするなど、会員が主体的に課題解決に取り組む議論・検討の場を設置

